

萩の友

第24号

令和2年(2020)3月発行

萩市文化協会
会長/有富 美子
編集
会報編集委員会
委員長/大場 洋

文化イベント（講談・落語・オーケストラ）

神田松之丞「講談漫遊記Vol.3」
10月20日(日) 市民館大ホール

神田松之丞「講談漫遊記Vol.3」
10月20日(日) 市民館大ホール

桂 文枝「独演会」
11月17日(日) 14:00 開演 13:30 開場
萩市民館大ホール(萩市江向 495-4)

桂 文枝「独演会」
11月17日(日) 市民館大ホール

吉田正記念オーケストラ
12月14日(土) 13:30 開演 13:00 開場
萩市民館 大ホール

吉田正記念オーケストラ
12月14日(土) 市民館大ホール

令和2年度 加盟団体主要行事一覧表 (令和2年4月～令和2年9月)

月	日	時 間	行 事 名	場 所	団 体 名
5	3～4	10:00～15:00	大茶会 花展	松陰神社立志殿	華道家元池坊萩支部
	10	9:50～16:30	第24回北浦歌謡フェスティバル	萩市民館大ホール	NPO北浦音楽芸能文化協会
6	13	15:00～17:00	杵屋邦寿一人ライブ	旧タルタル21	萩三音会
	14	13:00～15:00	杵屋邦寿一人ライブ	大寧寺本堂	萩三音会
7	11	14:00～16:00	第16回定期演奏会	萩市民館	萩吹奏楽団サマーオレンジズ
	12	14:00～16:00	合唱講習会	萩西中学校	萩音楽協会
8	3	11:00～23:45	お船謡巡行	萩市内(57ヶ所)	住吉神社お船謡保存会

※各団体から報告のあったもののみを掲載(中止、順延等あります。3月末現在)

全国へはばたく小学生

中村 結(けん玉)さん
(明倫小4年)



秋山 紗希(歌唱)さん
(明倫小4年)



令和元年10月、東京都で開催された日本大衆音楽祭に出場、チャイルド大賞を受賞した。

これまでも数々の全国大会等で入賞、ファイナリストに輝いており、県レベル等の大会でも優勝してきた。

優勝曲は演歌の「夜桜お七」堂々たる歌唱に絶賛の拍手が注がれた。

これからの活躍が大いに期待される。

2月、山口市で開かれた山口県けん玉道選手権大会の最上位クラス「選手権の部」で初優勝、山口県チャンピオンに。

決勝の相手は、全日本大会で優勝の日本チャンピオン。見事に破って新チャンピオンに輝いた。

さらに日本チャンピオンを目指して研鑽を積んでいる。

編集後記

◆新型コロナウイルスが世界を席巻している。想定以上のスピードで感染拡大し脅威を振りまいている▼今日、医学は素晴らしい発展を遂げて来学を無力にして、世界の人々に病を、死をもたらしているコロナ・ウイルス▼お蔭で経済や文化活動等あらゆる分野に大きなマイナスの影響が出ている。オリンピック・パラリンピックもついに延期となった▼「ウイルスとの戦い」とか「人類の危機」と言う言葉も出て危機感が高まっている。▼抑え込む薬の開発には日にちが掛かると言う。一日も早い開発と終息を祈るばかりである。▼今号に寄稿があった、映画と言う文化に対する一考察である。こういう投稿を待っていたので、そのまま掲載させていただいた▼今後とも、皆さまの文化に対するご意見、ご提案、ご感想等のご投稿をお待ちしている。

(編集委員長 大場 洋)

今こそ文化が大事

会長 有富 美子



有富会長

さには戸惑いながら、このコラムが読まれる頃、コロナウイルスの感染拡大が収束していることを祈るばかりである。

今まさに世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、国から学校の臨時休業およびイベント等の自粛の要請が出たことで、様々な分野の催し物が中止されている。生命に関わる可能性があり、未曾有の事態に多くの関係者が苦渋の決断を強いられていることを思うと、胸が痛む。そんな中で、若手の落語家が集まり高齢者に笑いを届けたいとYouTubeで始めた「テレワーク落語会」のニュースを耳にした。収入が激減し、家賃も払えなくなった等いろいろ理由もあると思うが、こんな時期だからこそ文化に親しむことが大事だと思う。この他にも、無観客ライブの様子をネット配信したり、今だからこそ子供たちに笑顔をと、漫画を無料公開したり、多くの方々の善意が元氣と勇気を届けている。

当たり前のことが当たり前にできない不自由さに戸惑いながら、このコラムが読まれる頃、コロナウイルスの感染拡大が収束していることを祈るばかりである。

子弟を教育する場は大別して三つあるという説があります。一つは社会、正しい人の道を歩む規則を教える所。二つ目は学校、ここは頭脳を鍛える所。三つ目に家庭、情操や安定した情緒を身につける所。この教育の一翼を担っているものに映画文化があることに、視線を向けてください。

二〇一九年は映画界が空前の興行収益を樹立したと報道されました。ベストテンの殆どがアニメ映画で、いずれも良質の作品であることは、国内外で当たり前に行っていることがよく物語っています。

広いスクリーンと素晴らしい音響設備の映画館で親と子が密着した時間を共有し、隣り合う同世代の子らと目線を一つにし

て喜び合い感動して喝采を惜しまない。子供なりに癒されて喜々として映画館を後にする。親子はどんな会話を交わしながら家路に着くのでしょうか。

この幸せな親子のワンカットが暗転すると映画も観られない。食べることで極まる母子家庭がある。七人に一人いるという貧困率は先進国の中でも上位にある。雇用条件や所得の格差から来る親のストレスから、嫉妬の筈が体罰に代わる。勢い家庭内暴力に高じて虐待にあう。登校すればいじめにあい、学校は、もはや居場所ではない。親が貧しい故に受難の子供は黙して息を潜めている。

これは看過出来ない、NPOの団体が支援の手を差し延べて各地に立ち上げたのが「子ども

食堂」です。朝食や給食費にも事欠く子供や家で食事の支度時間が無い大人にも低料金で提供しています。核家族の中で引きこもる子供を引出し、大人と食事しているうちに、いつしか心を開いて話し相手になるのです。

「困っている、助けて！」（この言葉が大事だと、専門家の弁）と。隠さず言える交流の場となるのです。

これをいのちを育む「子ども食堂」と呼べば、映画館は心を育む「子ども食堂」になれるものであると思えます。取材に当たり、萩ツインシネマでは、定期的に園児らにアニメを観せる集いの場を提供して居られることを知らされて、より確信しました。

映画文化が多勢の人々を誘き寄せ、幼少期に情操を育てる大切な社会的使命に貢献していることを想うとき、子供に託す未来への曙光が見えてくるのです。



現在の萩ツインシネマ



在りし日の吉住座（昭和初期）

ーふたつのイベント報告ー

ひとづくり セミナー開催 講師に辻井いつ子氏・ 萩原健司氏

平成七年以来、毎年開催してきた萩市民大学教養講座。その主旨を引き継いで令和の本年度から萩市ひとづくり構想を踏まえて「ひとづくりセミナー」として再発足することとなりました。

第一回は令和元年十月二十九日、萩市民館大ホールで開催。講師に、ピアニスト辻井伸行氏の母の辻井いつ子氏と元ノルディックススキー複合メダリストの萩原健司氏を招き、豊かな体験談等を話され好評でした。



石田成香 ピアノコンサート



去る三月一日に、リゾートホテル美萩にて、石田成香ピアノコンサートが開催されました。

石田さんの萩でのリサイタルは六回目。今回は、中国・広東省で開催された第三回珠海モーツァルト国際コンクールピアノ部門での第一位・優勝記念リサイタルとして開催されました。

石田成香さんは、萩市生まれ。三歳よりピアノを始め、十五歳より三年半、日本が誇る世界的ピアニスト故中村紘子氏に師事。二〇一六年秋からウィーン国立音楽大学ピアノ科に入学し、就学中です。

萩市文化協会会員の次の方々が受賞されました

1. 県知事表彰

文化功労（舞踊部門）

○米原 福子（萩民踊研究会）

50年以上の長きにわたり、郷土民踊の保存普及に尽力された。



2. 萩市教育文化奨励賞

文化功労

○波多野 昭（萩美術協会）

昭和30年から萩美術協会会員となり、市の文化芸術の振興に貢献をしている。（現・美術協会相談役）



○石橋 慶子（萩音楽協会）

永年、萩音楽協会の理事として又平成25年からは会長として市の音楽文化発展のために尽力している。



○藤田 菊恵（越ヶ浜郷土芸能保存会）

市指定無形民俗文化財 越ヶ浜「巫女の舞」の唯一の指導者として、次世代へ継承に努めている。



萩市美術展 ＜市長賞＞

高校・
一般の部
（書）

小谷夏那実
（萩高校2年）

小中学生
の部
（書）

田中ひなた
（萩西中2年）

余松村
光放
大皇
夫洛
以洛
推州
射刺
匪史
在始
在平
公公
鹿鹿
島島

村松
塾下

